

事業区分 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

事業名 阿蘇ふるさとづくり未来塾

[主催] 国立阿蘇青少年交流の家

[後援] 阿蘇市教育委員会

[期日] 令和3年12月3日(金)～12月5日(日)【2泊3日】

[活動場所] 国立阿蘇青少年交流の家 阿蘇神社 阿蘇門前町商店街

[参加者] 阿蘇小学校児童4名 内牧小学校児童9名

[講師] 阿蘇インフォメーションセンターボランティアガイド3名 阿蘇門前町商店街の方々

[担当職員] 4名

[ボランティア] 3名(内ボランティア実習生4名)

1. 趣旨

共同宿泊体験をとおして自主性や自立心を身に付け、他者や家族への感謝の気持ち、思いやりの心を育てる。また、阿蘇地域に根差した取組や阿蘇地域を生活基盤としている人々と関わる機会を設け、「自分たちのふるさと阿蘇」の価値を再認識させることで、郷土愛を育む。

2. 目標

- (1) 参加者の8割が、互いに協力し合いながらの共同体験に「満足」を感じる。
- (2) 参加者の8割が、「阿蘇のよさや魅力」について実感する。
- (3) 参加者の8割が、自分たちの力で阿蘇をよりよくしていこうという気持ちをもつことができる。

3. 事業展開

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	
12月3日(金)											開会式	荷物整理	話し合い活動	入浴	夕食	宿題	就寝
12月4日(土)	起床・身支度	朝食	活動準備	移動	阿蘇神社 阿蘇門前町商店街	活動①	移動	昼食	移動	看板製作 パンフレット	活動②	入浴	夕食	仕上がり 振り返し	活動③	就寝準備	就寝
12月5日(日)	起床・身支度	朝食	退所点検	広報活動	活動④	移動	振り返り	ピザづくり	閉会式	解散							



【フィールドワークについて話し合う児童】



【ボランティアガイドの説明を聴く児童】



【立て看板制作の様子】



【観光客へ阿蘇のアピール】

4. 成果と課題

(1) 成果

- アンケート結果から、「他校の人と協力しながら活動することで、仲良くなることができた」「最初は皆とうまく活動できるか不安だったけれど、とても楽しくて不安が吹き飛んだ」等の意見があり、互いに協力しながらの共同体験に8割以上の児童が「満足」を得ることができた。
- アンケート結果に「フィールドワークで得たことをもとに自分たちで案を出し、パンフレットや看板を作成することで、阿蘇について今以上に詳しくなることができた」「パンフレットづくりや看板づくり、インタビュー活動をとおして、改めて阿蘇がいいところだということを実感することができた」という意見が多くあり、全員の児童が「阿蘇のよさや魅力」について再考することができた。
- 「パンフレット配布のときに観光客の質問に応えることができたとき、『新しい知識が増えた』と言ってくれたことで、阿蘇をもっとよりよくしていこうという思いが湧いてきた」「観光客に阿蘇の魅力を発信することで、『教えてくれてありがとう』など声をかけてもらったことで、もっと阿蘇を盛り上げていきたいという気持ちになった」等の意見があり、自分たちの力で阿蘇をよりよくしていこうという気持ちをもたせることができた。

(2) 課題

- 児童が、「フィールドワークについてどのような問題意識をもって話し合うか」という時間の確保が短すぎたため、話し合いが滞る場面があった。もっと話し合う視点について意識させ、考えを引き出す手立てが必要であった。
- パンフレット作成時、フィールドワークをとおして得た情報に対して児童が情報の取捨選択に迷い、どんな情報をアピールすればよいか迷ってしまった。活動後の振り返りを全員で行い、目的について再確認させてから取り組む必要があった。